

洛北SSHだより

令和8年8月28日発行
第6号
総務企画部



「洛北 SSH だより」では、本校 SSH 事業の取組や様々な情報を発信しています。

1 「自由すぎる研究 EXPO 2026」で本校生徒が金賞受賞・入賞！

自由すぎる研究 EXPO とは、さまざまな業種の企業や大学等で活躍する大人たちが、それぞれの専門領域から多様な観点で生徒の探究を称賛するコンテストです。今年度は9958件の応募の中から約700件が最終審査に進みました。本校からは11チームが応募し、以下のチームが金賞受賞、および入選しました。

【金賞(川上産業株式会社 プチプチ文化研究所賞)】

「効率よくビー玉の運動方向を変える曲線～最速降下曲線は逆向きにも最速なのか～」

【入選】「換気を用いた避難所における暑熱環境の改善～体育館模型実験での開口条件による換気効率の検討～」

2 サイエンスプラウト

6月15日(月)から7月17日(金)まで、Microsoft Teams 上で、課題研究についての意見交流イベント「サイエンスプラウト」を開催しました。この取組は、洛北高校が主幹を務める「京都 Science コミュニティ」が中心となっていくもので、洛北高校からは、課題探究Ⅱおよび文理探究Ⅱの研究グループが参加し、全部で8校145グループが意見交流を行いました。「自分では思いつかないようなアイデアがたくさんあってすごいなと思いました。また、質問をもらうことで、思ってもいなかったことや、気づいてなかったダメな部分に気づけるのでとても役に立ちました。」といった感想が寄せられ、課題研究のブラッシュアップにつながる取組となりました。



3 【中学2年】洛北サイエンス 数学学年発表会

中学2年生が4月から継続して行ってきた探究活動の発表会を行いました。テーマは純粋数学や図形、統計など多岐にわたり、それぞれのカラーが良く表れた素晴らしい発表でした。当日は、生徒だけでなく、保護者の方や教職員にも参観してもらい、様々アドバイスをもらいました。

「初めての長期間の探究活動だったけど、奥深く楽しかった」「仮説・検討の難しさを痛感した」「他の人にアドバイスをもらいながら進められたのが良かった」などと、前向きな感想が多く聞かれました。後期も継続して探究活動を行う予定をしているので、次はどんな取組になるのか楽しみです。



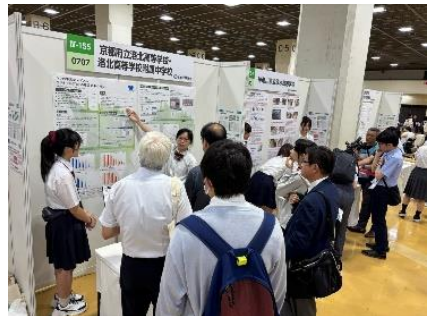
4 【中学校】島津サイエンスキャンプ

株式会社島津製作所協賛の元、京都府教育委員会主催で島津サイエンスキャンプが実施されました。附属中学校からは6名の生徒が参加し、本校以外の府立中学校から参加した生徒とともに活動しました。分光コース、液体クロマトグラフィーコース、レントゲンコースに分かれて実習した後、培養肉や生体信号など最先端の研究についての講義を受け、充実した一日となりました。



5 SSH 生徒研究発表会

8月5日(水)～6日(木)の2日間、神戸国際展示場において、全国の SSH (スーパーサイエンスハイスクール)指定校が一堂に会する「生徒研究発表会」が開催されました。本校からは、「シソの香気成分であるペリラルデヒドの殺菌効果の検証」をテーマに、ポスター発表を行いました。発表では、試行錯誤を重ねながら実験と考察を積み重ねてきた研究成果を、来場者に対して丁寧かつ分かりやすく説明していました。この1年間、生徒が研究に真摯に向き合い、粘り強く取り組む姿を間近で見てきた者として、その努力と成長を心から誇りに思います。研究を始めた頃は一人の高校生だった生徒が、課題を見つけ、仮説を立て、実験を重ね、結果を分析・考察し、自らの言葉で研究を語る「一人の研究者」へと成長していく姿は、大変頼もしく、感慨深いものでした。本当にお疲れさまでした。



6 SHOOT Lab(研究室体験研修)

7月27日(月)から8月5日(水)のうち3日間、大学研究室での SHOOT Lab を実施しました。この取組は、大学での最先端の研究環境を体験し、科学の方法を学んだあと、自ら課題を設定して課題研究に取り組むプログラムです。高校1・2年生23名の希望者が参加し、下記の大学研究室で充実した実験・実習に取り組みました。

大学	研究室	大学研究室での研究テーマ
京都府立大学	織田研	鶏卵やうずら卵のタンパク質を精製して定量・検出する
	神代研	動かない樹木・タケの生存戦略 ～mからnmスケールでの工夫～
京都工芸繊維大学	今野研	Luminescence:光る分子を作り、その分子構造と発光色との関係を調べる
	足立研	身近な高分子材料を合成し、その性質を調べる
	小島研	建物の倒壊について考える

7 サイエンスツアー「明治なるほどファクトリー大阪・関西リサイクルシステムズ」

8月21日(金)、希望生徒25名が、明治なるほどファクトリー大阪(高槻市)および関西リサイクルシステムズを訪問しました。明治なるほどファクトリー大阪では、カカオの収穫からチョコレートができるまでのプロセスを動画で学んだ後、「きのこの山」と「たけのこの里」の製造ラインを見学しました。型にチョコレートを流し込んで外すダイナミックな動きや、正確な箱詰めロボットの動きに感動しながら、安全かつ効率的に製品を届けるための工夫を学びました。関西リサイクルシステムズでは、家電リサイクルの概要説明を受けた後、エアコンの解体や樹脂の選別プロセスを見学しました。洗濯機の解体実演では、鮮やかな作業に圧倒されつつ、素材ごとの再資源化手法への理解を深めました。見学後には3～4人のグループに分かれ、電動ドリルを用いた洗濯機のフタの分解作業を体験。生徒たちが夢中で手を動かす姿が印象的でした。普段何気なく手にしている製品が「つくられる過程」と、役目を終えて「生まれ変わる過程」を連続して見学することで、ものづくりへの多角的な視点を養う有意義な一日となりました。

